

株式会社松本機械製作所

大阪府堺市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

遠心分離機のトップ、海外展開推進、 「トータルソリューションの提案企業」へ

遠心分離機の研究開発に68年前から取り組む老舗工作機械メーカー。顧客の多様なニーズに応じ、製品の研究開発、生産、販売を一貫して行っている。個別受注生産により、案件ごとに最適モデルを選定し、独自のカスタマイズが可能である。遠心分離技術は、製薬会社や化学メーカーで固体と液体の分離に多く使われ、同社製品は国内のみならず世界各地で5,000台を超える納入実績がある。国内での市場占有率は70%を占め、医薬品向けとして長年にわたり、トップの座を堅持している。

● 所在地 大阪府堺市堺区三宝町6-326
● 電話/FAX 072-229-3388 / 072-228-1751
● URL <http://www.mark3.co.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 松本知華

● 設立 1939年
● 資本金 3,000万円
● 従業員数 41人



需要獲得

実績のある海外メーカーとの協業により積極的な海外需要の発掘

同社は2016年10月にフランスのろ過・乾燥機器メーカーと代理店契約を締結している。海外の様々なニーズを把握し、技術上の要求、海外規格・規制の対応等、課題解決に向けて、定期的に代理店を訪問している。製品に関する説明会を催す一方、来年には更なる顧客のニーズを的確に調査・把握するために、実物のサンプル機械の輸出を行うことを計画している。積極的かつ長期的視点で海外需要の発掘を目指し取り組んでいる。



難ろ過性対応遠心分離機HERVA

大阪府立大学との共同研究開発による新仕様の実現で差別化

紀陽銀行(和歌山・大阪)による「イノベーション・サポートプログラム」を活用し、大阪府立大学との共同研究開発に取組み、遠心分離機製品「HERVA」を開発。抗がん剤向けの医薬成分など、ろ過工程だと生成が難しい自然物に対応した新たな開発を実現。ろ過装置では通常2日間必要とされる作業時間が30分程度で終了する独自の技術により、生産性が大幅に向上。操作オペレーターが危険な薬に触れずに済む設計や、材料が飛散しない安全性に優れた新仕様の開発により差別化を実現した。



大学での実験データの分析作業

化学品加工の「トータルソリューションの提案企業」へ

遠心分離機のほか、得意とする技術を活かして、ろ過や乾燥技術等、関連技術の事業化にも取り組んでいる。現在、ヨーロッパ諸国で40年以上の実績と販売ネットワークを持つEfCI社と業務提携し、自社の遠心分離技術以外への分野への進出を目指している。革新性の高い化学品加工の開発・設計からアフターケアまで顧客満足と信頼を得る「トータルソリューションの提案企業」としてのビジョンを掲げ、更なる顧客のニーズへの対応を目指し経営の高度化を図っている。



部品一つ一つを設計し職人技で製作

ものづくり